



koryo 陵 雲 High School

〒031-0011 青森県八戸市田向二丁目2番6号／電話 0178-44-3866／FAX 0178-43-9077
<http://kouryo-high-school.com>／メール kouryo@chibagakuen.ac.jp

校長先生2021年度青森県最高表彰となる



11月17日(水)、青森県における最高表彰として位置づけられている県褒賞が発表され、清野耕司校長先生が、教育・学術・芸術・体育等の部門で選出された。表彰式は11月24日(水)木テル青森で開かれ三村県知事より賞状と記念品(銀盃)が授与された。この賞は、公共の福祉増進に功労の著しい方(団体)又は広く県民の模範となる方(団体)の事績を顕彰し、褒賞するもので、昭和33年度から毎年行われている。校長先生は、長年の向陵高校での教育・指導を評価されての受賞となつた。

受賞に際して12月6日(月)、バトン部全国大会壮行式後に、

全校生徒と教職員からサプライズで校長先生の県褒賞受賞報告

と花束の贈呈を行つた。生徒会長の石輪慶次君(3年・三条中学校出身)はお祝いの言葉の中で、校長先生がいつも生徒のために敷地内の草刈りなどの環境整備や雪かきに努めていることにも触れ、感謝の意を述べるとともに校長先生の体を按げる言葉も口にした。続いて、全校生徒と教職員を代表して生徒会会計の向絹音さん(3年・三条中学校出身)が花束を贈呈し皆で校長先生の県褒賞受賞を祝福した。校長先生は、「涙が出そうですね」と語り、全校生徒と教職員の気持ちを嬉しそうに受け取つて下さった。会場内は温かい空気に包まれた。

副部長 栗橋 瑞菜(3年・第一中学校出身)

本番は、手がとても震えましたが、振り、技をしっかりと決めることができました。一年ぶりに幕張メッセという大きな舞台に来れたこと、本当に良かったです。曲のテーマである「奇蹟」は私たちにピッタリだと思いました。ノードロップはできませんでしたが5人で踊れたことに感謝します。

チーム最後の大会を終えて、少し悔いは残りますが本当にやり切った感じがしました。幕張メッセの大舞台、踊っていて本当に楽しかったです。9年間続けてこれで良かった、この5人で良かった、向陵で本当に良かったと心から思いました。この5人、そして美咲先生だからこそ獲れた金賞です。

このメンバーと先生と臨む高校生活最後の全国大会が終わりました。9年間、そして高校3年間の集大成として、5人で自分たちらしく思いきり演技をすることができました。とても緊張しましたが、それ以上に楽しく3分30秒に今までの全てをかけて踊ることができて良かったです。

清水 李渚(3年・第一中学校出身)

自分の納得する演技をできず、緊張に勝つことができなかつた。本番では、良い緊張感を持ったうえで、向陵の体育館での練習イメージで落ち着いて演技をすることができました。先生方のご指導と保護者の支えがあつて今の私たちがあり、金賞と感謝のリハーサル。演技後はすぐに着替えて移動。閉会式、表彰式もなごこれまでの大会とは異なる点が多くありました。結果は帰りの新幹線の中で知ったという部員たち。車内では大きな声で喜ぶことはできなかつたが、その表情は驚きと感激で満ち溢れていた。それを見た顧問の宮本先生はホッとしたと胸の内を明かす。同時に部員たちに「ありがとう」という想いと「皆の力を信じて妥協せず挑んだことを心の底から良かつた」と実感し帰らしことを話した。

12月11日(土)、第49回バトンワーリング全国大会が千葉県幕張メッセで開かれ、バトン部が金賞を受賞した。今大会はコロナ禍での実施ということもあり、時間に追われた大会だったと校長先生は振り返る。限られた観客数に短時間でのリハーサル。演技後はすぐに着替えて移動。閉会式、表彰式もなごこれまでの大会とは異なる点が多くありました。結果は帰りの新幹線の中で知ったという部員たち。車内では大きな声で喜ぶことはできなかつたが、その表情は驚きと感激で満ち溢れていた。それを見た顧問の宮本先生はホッとしたと胸の内を明かす。同時に部員たちに「ありがとう」という想いと「皆の力を信じて妥協せず挑んだことを心の底から良かつた」と実感し帰らしことを話した。

12月2日(木)、隣接する千葉幼稚園の第50回ひまわりっこつどいにバトン部が出演。会

場となつた八戸市公会堂では、多くの保護者たちが園児の発表を見守つた。集まつた幼稚園の関係者たちは、カラフルな衣装に身を包んだバトン部員が登場すると園児たちと同様に大きな拍手で迎えて下さつた。部員たちは、温かな手拍子にも後押しされ見事な演技を披露し、たくさんの方々に笑顔を届けた。

清水 李渚(3年・第一中学校出身)

自分の納得する演技をできず、緊張に勝つことができなかつた。本番では、良い緊張感を持ったうえで、向陵の体育館での練習イメージで落ち着いて演技をすることができました。先生方のご指導と保護者の支えがあつて今の私たちがあり、金賞と感謝のリハーサル。演技後はすぐに着替えて移動。閉会式、表彰式もなごこれまでの大会とは異なる点が多くありました。結果は帰りの新幹線の中で知ったという部員たち。車内では大きな声で喜ぶことはできなかつたが、その表情は驚きと感激で満ち溢れていた。それを見た顧問の宮本先生はホッとしたと胸の内を明かす。同時に部員たちに「ありがとう」という想いと「皆の力を信じて妥協せず挑んだことを心の底から良かつた」と実感し帰らしことを話した。

12月3日(金)、3年生を対象に八戸年金事務所より佐藤桂一さん、大久保真人さんをお招きし年金セミナーを開催。セミナーでは公的年金制度の概要や必要性などを講演と動画で分かりやすくお話ししていただいた。参加した生徒は、「正直、義務にまでしなくていいのではないかと思っていましたが、メリットがたくさんあることも知ることができたし、年金に加入して納付するとの大きさがわかりました」「まったく興味がなく、自分には関係ないものという印象を持っていましたが、講演を聞いて生きていくのに必要なものであることがわかりました」などと感想を述べた。年金の知識とともにこれから将来について考

える良い時間となつた。

12月3日(金)、3年生を対象に八戸年金事務所より佐藤桂一さん、大久保真人さんをお招きし年金セミナーを開催。セミナーでは公的年金制度の概要や必要性などを講演と動画で分かりやすくお話ししていただいた。参加した生徒は、「正直、義務にまでしなくていいのではないかと思っていましたが、メリットがたくさんあることを知ることができたし、年金に加入して納付するとの大きさがわかりました」「まったく興味がなく、自分には関係ないものという印象を持っていましたが、講演を聞いて生きていくのに必要なものであることがわかりました」などと感想を述べた。年金の知識とともにこれから将来について考

える良い時間となつた。

12月3日(金)、3年生を対象に八戸年金事務所より佐藤桂一さん、大久保真人さんをお招きし年金セミナーを開催。セミナーでは公的年金制度の概要や必要性などを講演と動画で分かりやすくお話ししていただいた。参加した生徒は、「正直、義務にまでしなくていいのではないかと思っていましたが、メリットがたくさんあることを知ることができたし、年金に加入して納付するとの大きさがわかりました」「まったく興味がなく、自分には関係ないものという印象を持っていましたが、講演を聞いて生きていくのに必要なものであることがわかりました」などと感想を述べた。年金の知識とともにこれから将来について考

える良い時間となつた。

12月3日(金)、3年生を対象に八戸年金事務所より佐藤桂一さん、大久保真人さんをお招きし年金セミナーを開催。セミナーでは公的年金制度の概要や必要性などを講演と動画で分かりやすくお話ししていただいた。参加した生徒は、「正直、義務にまでしなくていいのではないかと思っていましたが、メリットがたくさんあることを知ることができたし、年金に加入して納付するとの大きさがわかりました」「まったく興味がなく、自分には関係ないものという印象を持っていましたが、講演を聞いて生きていくのに必要なものであることがわかりました」などと感想を述べた。年金の知識とともにこれから将来について考

える良い時間となつた。

12月3日(金)、3年生を対象に八戸年金事務所より佐藤桂一さん、大久保真人さんをお招きし年金セミナーを開催。セミナーでは公的年金制度の概要や必要性などを講演と動画で分かりやすくお話ししていただいた。参加した生徒は、「正直、義務にまでしなくていいのではないかと思っていましたが、メリットがたくさんあることを知ることができたし、年金に加入して納付するとの大きさがわかりました」「まったく興味がなく、自分には関係ないものという印象を持っていましたが、講演を聞いて生きていくのに必要なものであることがわかりました」などと感想を述べた。年金の知識とともにこれから将来について考

える良い時間となつた。

12月3日(金)、3年生を対象に八戸年金事務所より佐藤桂一さん、大久保真人さんをお招きし年金セミナーを開催。セミナーでは公的年金制度の概要や必要性などを講演と動画で分かりやすくお話ししていただいた。参加した生徒は、「正直、義務にまでしなくていいのではないかと思っていましたが、メリットがたくさんあることを知ことができたし、年金に加入して納付するとの大きさがわかりました」「まったく興味がなく、自分には関係ないものという印象を持っていましたが、講演を聞いて生きていくのに必要なものであることがわかりました」などと感想を述べた。年金の知識とともにこれから将来について考

える良い時間となつた。

12月3日(金)、3年生を対象に八戸年金事務所より佐藤桂一さん、大久保真人さんをお招きし年金セミナーを開催。セミナーでは公的

会長	2年 小笠原智也 (市川中学校出身)
副会長	2年 伊藤みんと (白山台中学校出身)
副会長	1年 坂 勇太朗 (三条中学校出身)
書記	2年 鈴木 梢 (大館中学校出身)
会計	1年 石岡 真衣 (小中野中学校出身)
会計監査	2年 高橋 宏輔 (大館中学校出身)
会計監査	1年 奈良 明音 (東中学校出身)
会計監査	2年 大羽沢 洸希 (北稜中学校出身)
会計監査	1年 小笠原 陸 (湊中学校出身)



新生徒会役員

11月22日(月)新生徒会役員立会演説会が行われ、即日投票となつた。今回は信任投票のみの選挙となり、立候補者全員が新役員として信任された。同25日(木)に校長先生から「信なくば立たず」のお言葉と任命状を授与され、気持ちを引き締め役員としてのスタートを切つた。新生徒会長となつた小笠原君は「生徒会役員と全校生徒の皆さんと積極的にミニケーションを取り、お互いに助け合いながら学校生活をより良いものもしていきたいです。また、何事も一緒に考え、行事など共に作り上げてきました」と抱負を語つてくれた。

大切なあなたへ薦める青春の一冊へ賞

県内の中学生、高校生を対象に行われた「あおもりの中学生・高校生による大切なあなたへ薦める青春の一冊」において栗橋美妃さん(3年・第一中学校出身)が優秀賞を受賞した。このコンクールは、仲間や友達に薦めたい本を「大切なあなたへ薦める青春の一冊」として紹介文を作成するもので、読書意欲の向上と自主的な読書活動を促す目的で毎年行われている。栗橋さんは、刈谷富士雄著『今こそ栄光への架け橋を』それでもオリンピックは素晴らしい!』を自身の体験と重ねて紹介してくれた。

誰でも夢や目標があるだろう。でも、それを達成するまでには、沢山の失敗や挫折、壁にぶつかる。それを乗り越えるのは自分自身だが、そう簡単にいくものではない。私はバトン部に所属しているが、高校三年生で一つ一つの大会が最後になつてくる分、そこにかける想いも熱く、高い目標も掲げていた。しかし、満足のいく演技と結果を出せず、ネガティブ思考になつた時期があつた。そんな時この本と出会つた。スポーツで高みを目指す者の気持ちや失敗から学ぶこと等、為になる話が沢山あり、前向きになることが出来た。

でも、それ達成するまでには、長い道のりだが、つらいことや壁等も全て通過点だ。皆にもこの本を読んで自分の可能性を広げてほしい。

11月17日(水)、2年生を対象に(株)さんぼう進路相談会が行われた。2年生は新型コロナウイルスの影響で、昨年予定されていた全ての進路相談会が中止となつたため、本格的な相談会は初めてとなる。生徒たちは、就職、専門学校、短大・大学コースの三つに分かれて外部講師の方々からお話を伺つた。コロナ禍における進路活動の進め方はもちろん進路を意識した学校生活が今後を左右すると聞き、皆真剣な表情で相談会に臨んでいた。



11月17日(水)、2年生を対象に(株)さんぼう進路相談会が行われた。2年生は新型コロナウイルスの影響で、昨年予定されていた全ての進路相談会が中止となつたため、本格的な相談会は初めてとなる。生徒たちは、就職、専門学校、短大・大学コースの三つに分かれて外部講師の方々からお話を伺つた。コロナ禍における進路活動の進め方はもちろん進路を意識した学校生活が今後を左右すると聞き、皆真剣な表情で相談会に臨んでいた。

進路相談会

12月12日(日)、小説家の朝井リョウさんも出席された表彰式(つがる市生涯学習交流センター松館)では、栗橋さんは他の参加者とともに受賞作品の発表を行つた。

万防標語入賞

万引き防止への意識向上を目的とした標語に応募した和田大勢君(3年・江陽中学校出身)の作品が優秀賞に選ばれた。標語部門は33校400作品の応募があった。和田君は12月8日(水)に八戸警察署で行われた表彰式に参加し賞状と記念品を授与された。作品は広報ポスターとなり、市内の各店舗で掲示される予定。



読書感想文コンクール

課題図書を読んで感想文を書く校内読書感想文コンクールの結果が発表された。

残るのは 消せない過去と 罪悪感

最優秀賞	霞 瑞菜 (3年・第一中学校出身)
優秀賞	向 純音 (3年・三条中学校出身)
優秀賞	奈良 明音 (1年・東中学校出身)
優秀賞	淨法寺七海 (3年・三沢第五中学校出身)
努力賞	山内 摩耶 (2年・東中学校出身)
努力賞	前村 愛梨 (2年・北稜中学校出身)
努力賞	八木田実咲 (2年・北稜中学校出身)
努力賞	石岡 真衣 (1年・小中野中学校出身)
努力賞	高清水里桜 (1年・南浜中学校出身)
努力賞	前田 七海 (1年・第三中学校出身)
努力賞	水無 茉桜 (1年・階上中学校出身)
努力賞	中島 唯斗 (1年・第一中学校出身)

【男子】

優勝	3年1組
2位	3年2組
3位	2年2組
2位	2年2組

【女子】

優勝	3年1組
2位	3年2組
3位	2年2組
2位	2年2組

12月17日(金)、校内球技大会が行われ、男女ともにバレーボール競技で優勝を争つた。2学期は文化祭や修学旅行といった大きな行事が中止となつていたため、生徒たちはいつも以上にこの日を楽しみにしていた様子。練習や試合でも常に笑顔が見られた一日となつた。総合優勝は得失点差で3年1組が手にした。

冬季校内球技大会

